

〔科目名〕 財 務 会 計 論	〔単位数〕 4 単位	〔科目区分〕 選択必修
〔担当者〕 金 子 輝 雄	〔オフィス・アワー〕 時間: 研究室に表示 場所: 513	〔授業の方法〕
〔科目の概要〕 会計学基礎論での学修を踏まえ、より複雑な経済事象の会計処理、キャッシュ・フロー計算書や連結財務諸表といった財務報告書類の作成を学びつつ、会計マインド(基本的な考え)の修得を目指す。もとより資本主義社会では企業といった個別資本が社会的生産活動の中心的存在として位置づけられるが、その活動目的は本源的に利潤の追求にほかならない。このような個別資本を可視化し、併せて利潤を測定することが企業会計の基本的な任務といえる。 一般に、会計(Accounting)とは、特定の経済主体(企業等)の営む経済活動を、認識し、貨幣的数値により測定し、記録し、その結果を集計して伝達するという人間の行為のプロセスであるといわれている。ここで人間の行為とあるのは、会計というものが人間の主観的な判断に基づいて実施されるものであり、また社会情勢の変化とそれに起因する会計マインドの変容により会計のスタイルも方向づけられるのであり、ましてやコンピュータやAIに取って代わられるような機械的なものではないということの意味している。 企業を取り巻く投資家・債権者・規制当局などのステークホルダーに当該企業に関する財務情報を提供する会計を財務会計と呼んでいるが、企業の社会的影響の大きさと会計が人間の行為であることにより、財務会計には会計基準というルールが必要となる。その会計基準も近年の企業活動と投資のグローバル化および情報化の進展により会計基準の国際的統合が進展し、国際財務報告基準(International Financial Reporting Standard)が現在のグローバルスタンダードとなっている。そこでは株式投資に役立つ予測指向の会計が前面に押し出され、業績の指標である利潤の概念が実現ベースの「純利益」から発生ベースの「包括利益」に変換されている。また ESG 投資といわれるように持続可能な経済発展に向けて財務報告自体も社会責任報告と一体化した「統合報告」(Integrated reporting)が主流となりつつある。 受講者に念頭に入れていただきたいことは、財務会計情報というものが様々な制約と合意の産物であり、変容する会計基準を追いかけることに終始するのではなく、企業と社会の健全な関係構築に役立つ会計とは何かという問題意識を持ってほしいということである。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか」 ・会計学基礎論に引き続き、より本格的な会計学を学ぶ。財務会計論は会計情報が生み出される過程とその理論的根拠を学修することに焦点が置かれている。その理解を前提として、財務分析、監査論、税務会計およびNPO会計等へと展開する。 ・日商簿記検定試験2級以上の内容。そして難関とされる1級、公認会計士試験の財務会計論(短答式)・会計学(論文式)、税理士試験の財務諸表論、国税専門官採用試験の会計学の受験準備にも役立つ。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 会計学基礎論との連絡を意識して、基礎基本の確認からはじめ、徐々に、高度な会計処理とその理論へと少しずつ内容を深めてゆく。常に理論と計算を並行させ飽きない授業にしたいと考えている(商業高校等で学ぶ「財務会計」よりも高度である)。最終目標は日商簿記1級程度の会計学と商業簿記である。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 ・ 内容が難しいという意見が多くなってきたことから、取り上げるテーマを厳選し、その分、より丁寧に説明していきたいと考えている。 ・ 計算問題演習を多くしてほしい要望がある一方で、解説時間が不十分という指摘もある。限られた時間を考慮すれば、授業で取り上げる演習問題の量は必然的に制約される。さらなる演習は基本的に自修となる。		
〔教科書〕 桜井久勝『財務会計講義(最新版)』中央経済社		

〔指定図書〕 谷江・田村編著『電力産業の会計と経営分析』同文館出版 2018 年																				
〔参考書〕 適宜紹介する。演習問題としては市販のものを各自の目的とレベルに合わせて活用されたい。																				
〔前提科目〕 「会計学基礎論」																				
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) ① 期末試験および確認テスト (90%) ② レポート (1回) (10%) ③ 随時、出席確認を行う。																				
〔評価の基準及びスケール〕 <table><tr><th>グレード表記</th><th>評 点</th><th>グレード・ポイント</th></tr><tr><td>A</td><td>80 点以上</td><td>4. 00</td></tr><tr><td>B</td><td>80 点未満 70 点以上</td><td>3. 00</td></tr><tr><td>C</td><td>70 点未満 60 点以上</td><td>2. 00</td></tr><tr><td>D</td><td>60 点未満 50 点以上</td><td>1. 00</td></tr><tr><td>F</td><td>50 点未満</td><td>0. 00</td></tr></table>			グレード表記	評 点	グレード・ポイント	A	80 点以上	4. 00	B	80 点未満 70 点以上	3. 00	C	70 点未満 60 点以上	2. 00	D	60 点未満 50 点以上	1. 00	F	50 点未満	0. 00
グレード表記	評 点	グレード・ポイント																		
A	80 点以上	4. 00																		
B	80 点未満 70 点以上	3. 00																		
C	70 点未満 60 点以上	2. 00																		
D	60 点未満 50 点以上	1. 00																		
F	50 点未満	0. 00																		
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 本学でも公認会計士試験合格者や税理士試験科目合格者が誕生している。受講者が会計プロフェッション(国税専門官等も含む)の道にチャレンジすることを期待している。																				
〔実務経歴〕 銀行業及び税理士事務所での実務経験を活かし、会計学基礎論の学修を踏まえ、中級程度の会計処理とその背後にある理論を学ぶ授業である。																				
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル																				
第1回	テーマ(何を学ぶか): ガイダンス 内 容:講義の進め方と財務会計の意義 教科書・指定図書 本シラバスおよび 教科書 第1章 第1節																			
第2回	テーマ(何を学ぶか):財務会計の基礎理論 内 容:財務諸表の作成 教科書・指定図書 第1章 第4節																			
第3回	テーマ(何を学ぶか):財務会計の基礎理論 内 容:基礎概念と概念フレームワーク 教科書・指定図書 第1章 第2節																			
第4回	テーマ(何を学ぶか):財務会計の基礎理論 内 容:会計制度と会計基準 教科書・指定図書 第1章 第3節																			

第5回	テーマ(何を学ぶか):資産会計 内 容: 資産概念と資産の評価 教科書・指定図書 第2章 第1節
第6回	テーマ(何を学ぶか):資産会計 内 容:金融資産の会計(現金預金と金銭債権) 電子債権、クレジット債権など 教科書・指定図書 第2章 第2節
第7回	テーマ(何を学ぶか):資産会計 内 容:有価証券 教科書・指定図書 第2章 第2節
第8回	テーマ(何を学ぶか): 資産会計 内 容: キャッシュ・フロー計算書① 教科書・指定図書 第2章 第2節
第9回	テーマ(何を学ぶか):資産会計 内 容: キャッシュ・フロー計算書② 教科書・指定図書 第2章 第2節
第10回	テーマ(何を学ぶか):資産会計 内 容:棚卸資産の会計 教科書・指定図書 第2章 第3節
第11回	テーマ(何を学ぶか):資産会計 内 容:固定資産の会計 教科書・指定図書 第2章 第4節
第12回	テーマ(何を学ぶか):資産会計 内 容:総合償却、無形資産・ソフトウェア・研究開発費の会計 教科書・指定図書 第2章 第4節
第13回	テーマ(何を学ぶか): 内 容:減損会計、繰延資産 教科書・指定図書 第2章 第4節
第14回	テーマ(何を学ぶか):負債会計 内 容:負債の意義と分類、社債の会計 教科書・指定図書 第3章 第1節
第15回	テーマ(何を学ぶか):負債会計 内 容:引当金の処理 教科書・指定図書 第3章 第1節
第16回	テーマ(何を学ぶか):資本金会計 内 容:確認テストと資本金会計の意義 教科書・指定図書 第3章 第2節
第17回	テーマ(何を学ぶか):資本金会計 内 容:分配可能額と株主資本等変動計算書 教科書・指定図書 第3章 第2節

第 18 回	テーマ(何を学ぶか):損益計算 内 容:損益計算の意義と基本原則 教科書・指定図書 第4章 第1・3節
第 19 回	テーマ(何を学ぶか):損益計算 内 容:収益の会計 教科書・指定図書 第4章 第2節
第 20 回	テーマ(何を学ぶか):損益計算 内 容:工事契約と特殊売買 教科書・指定図書 第4章 第2節
第 21 回	テーマ(何を学ぶか):組織再編会計 内 容:買収・合併の会計 教科書・指定図書 第7章 4～7節
第 22 回	テーマ(何を学ぶか):組織再編会計 内 容:株式交換・株式移転の会計 教科書・指定図書 第7章 4～7節
第 23 回	テーマ(何を学ぶか):組織再編会計 内 容:事業分離の会計 教科書・指定図書 第7章 4～7節
第 24 回	テーマ(何を学ぶか):連結会計 内 容:連結会計の概要 教科書・指定図書 第7章 1～7節
第 25 回	テーマ(何を学ぶか):連結会計 内 容:連結範囲の決定と資本連結 教科書・指定図書 第7章 8節
第 26 回	テーマ(何を学ぶか):連結会計 内 容:資本連結の手続きと少数株主持分 教科書・指定図書 第7章 9節
第 27 回	テーマ(何を学ぶか):連結会計 内 容:連結損益計算書の作成 教科書・指定図書 プリントを配布
第 28 回	テーマ(何を学ぶか):連結会計 内 容:未実現利益の消去 教科書・指定図書 プリントを配布
第 29 回	テーマ(何を学ぶか):連結会計 内 容:持分法について 教科書・指定図書 第7章 第12節
第 30 回	テーマ(何を学ぶか):連結会計 内 容:総合問題演習 教科書・指定図書 練習問題プリントを配布
定期試験	

